

鳥取西高近畿同窓会報

第 8 号

2016年3月1日発行

発行：鳥取西高等学校近畿同窓会

発行責任者：米澤道隆（西高昭39年）

編集責任者：山内紀嗣（西高昭43年）



第五十二回総会 盛大に開催



第五十二回近畿同窓会は遠路母校より山本副校長、蔵多総務部長（西高五〇年）、同窓会より池内副会長（同五四四年）、竹田西高野球部後援会長（同三二年）、そして県の関係機関から米田裕子鳥取県関西本部長をお迎えし、平成二十七年六月二一日（日）大阪キャッスルホテルにて総勢五十九名参加のもと賑やかに開催されました。

まず総会の部では、米澤道隆会長（同三九年）から、「近畿同窓会として今後皆様方から久松山下の青春と伝統をテーマに寄稿を募り、証言集として後世に残していくのご協力を」との提案があり、今後さらなる同窓会の発展、充実に図っていききたい、との挨拶がありました。

議事では、事務局より平成二六年度決算報告と安宅監査（同四三年）から会計監査報告を、続いて平成二七年度予算案と役員改選についての提案を行い、満場一致で承認されました。新役員については、小谷繁昭さん（同四三年）が新たに監査として就任し紹介されました。

また各ご来賓の皆様からお祝いの言葉をいただきましたが、中でも山本副校長から西高懸案の校舎移転問題は現在地のまま今後二年間の耐震改修工事を行うことで決着との報告に一同安堵しました。

懇親会の部は、高野名誉会長による乾杯の音頭でスタート。懇親会を大いに盛り上げたのは安田裕美さん（同四三年）、由谷ひろみさん（同五〇年）の二人によるピアノ連弾による見事な演奏、また、昨年に引き続き西高四三年卒を中心とした七名の有志の皆さんによる「にわかバンド」の演奏があり、さらに会場を沸かせました。

カラオケや詩吟も飛び出し、いつもながら名残が尽きない中、フィナーレでは例年の如く一中、高女、西高の校歌を安田裕美さんによるピアノの生伴奏により高らかに歌い、再会を誓いつつ中嶋幹事（同二六年）の中締めで無事閉会となりました。

（近畿同窓会事務局 村江信幸（西高四三年））

鳥取西高 近畿同窓会役員

名誉会長：高野泰明（西高29年）

会 長：米澤道隆（西高39年）

副会長：田中勲（一中56回）、植村京子（西高34年）、高野彰允（西高36年）、岩永建夫（西高42年）

幹事長：山内紀嗣（西高43年）

幹 事：中嶋輝夫（西高26年）、太田匡四郎（西高26年）、本家公一（西高43年）、水谷陽子（西高43年）、庄田英一（西高44年）、山田陽子（西高45年）、村上悦洋（西高48年）、川上浩一（西高50年）

監 査：安宅寿昭（西高43年）、小谷繁昭（西高43年）

事務局長：村江信幸（西高43年）

（ゴシックは新任）

第53回鳥取西高近畿同窓会のお知らせ

期 日：平成28年6月19日（日） 11:00～15:30

受付は10:30より

会 場：大阪キャッスルホテル6階
大阪市中央区天満橋 1-1 Tel 06-6942-2401

①総会：11:00 ②懇親会：12:00～15:30

会 費：¥7,000 〈会場にご持参下さい〉
（29歳以下の会員は5,000円）

恒例の長寿（満80歳）のお祝いをします



お不動様

江阪詩朗（西高四三年）

私は泉州・犬鳴山で修験道行者を三五年やってきました。何も知らない素人がここまでくれば・・・年数だけなら我ながら立派なものだな、と言えるようになりました。

犬鳴山はお不動さまで有名ですが、鳥取から出てきて何故、泉州でしょうか？ここにお不動様の不思議な御縁が、私にはありました。

私の鳥取の実家では、お不動様を代々祀っていました。小さい時から守られて育ったわけですが、子供の私にはお不動様のお姿よりもその前にお供えされていたお菓子の方が楽しかったです。結婚して泉州に住み始めた頃、お不動様に何故か約束があったかのように、何も疑うこ



護摩焚きの様子



奥様と共に

ことなく、自然な気持ちの中でお不動様（七宝龍寺）に得度をうけました。実家のお不動様から、犬鳴山のお不動様に「頼むぞ」という依頼ごとがあったかのように……。長い人生、さまざまな苦難はありましたが、その度に乗り越えて来られました。ご先祖さまはもちろん、お不動様に助けられてきたからだ、と信じます。今年、高野山開創千二百年という記念の年に、私たちは五月一七日高野山の大師教会の中で柴燈大護摩を厳修しました。その時、五役の一員となり無事勤め上げたことは良い記念となり喜びを感じ、感謝しています。人生の最終章に入り、身のまわりの事を思うようになりしました。悔いがないように、そして最後の時に「ありがとう」という言葉が言えたら最高です。

私のセカンドライフ

庄田英一（西高四四年）

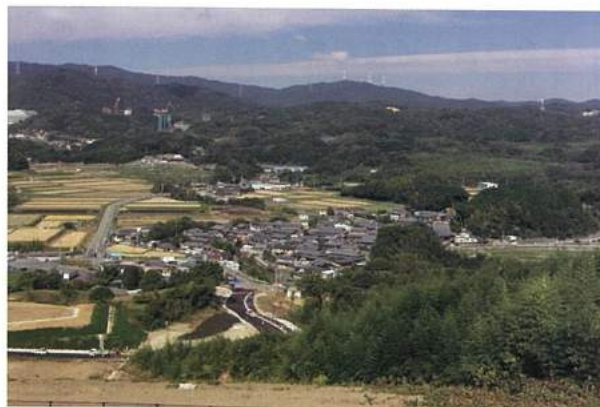
JR茨木駅から路線バスに揺られ、二十分もすると山間部に入り、周囲が山にかこまれ河川の両側に田畑と集落が見えてくる。さすがに茅葺きの家はないが、古民家と最近建て替えた家が散在している。名前は「佐保」という。河川も「佐保川」である。現在の奈良市（平城京）にも同じ名称があり、どちらがルーツか定かではないが、おそらく都があった平城京の方であろう（ただし、村の人は茨木の方がルーツと言っている）。

現在の世帯数は一三〇軒、人口は四百人、うち六〇歳以上が二百人弱で、典型的な限界集落である。小学校の生徒数も少なく、全校生徒数は十五名と大阪府でも有名な小規模校である（ちなみに小学校は「茨城市立清溪小学校」。明治七年開校）。

最近、村の周辺は国際文化公園都市（彩都）の開発が進んでおり、大阪モノレール彩都西線が開通し、彩都駅周辺は高層マンションが建ち並び、宅地開発が盛んである。一方、大規模物流基地が平成二九年四月にオープン、



そして新名神高速道路の茨木北提寺ICが平成三〇年春に開通予定など開発プロジェクト案件が目白押しですが、肝心の佐保村は緑地地



茨木市佐保の集落

域として存続することが決定しており、現状と変わりません。ある意味では自然がそのまま残るので良いこととは思いますが、農地の維持管理を考えると先が思いやられます。

兼業農家が大半で、私も休日は田畑（棚田）を耕し、「米」「野菜」を作っています。しかし、山間部のため、鳥獣（イノシシ、シカ）被害が年々増加、毎年鳥獣との戦いです。対策として電気柵をしておりますが、特にイノシシは作物の収穫時期になると、煩雑に柵の下をくぐり、田畑に侵入し作物を食べるだけではなく、土を掘り起こすので、元に戻す作業が大変です。

農業の担い手は年々高齢化してきており、遊休地・放牧地が増加、未耕作地は鳥獣の住処と行動領域が広がる要因と

なっております。そこで、定年を迎える村の仲間数人と共同で農地の耕作・農産物の栽培を検討し、三年後をめどに道の駅等で自分たちが栽培した品物を販売しようという計画を立て、昨年四月から月一回、農協が開講している宮農塾へ参加し、農業の基礎を学び、また近所の経験者の方に実践指導を受けています。

現在は米・野菜を中心に栽培していますが、今後は果樹・シイタケ栽培まで手を広げる予定です。収穫までは数年かかり、簡単にはいきません。しかしセカンドライフはこれからお互いに健康に留意しながら、焦らず前向きに取り組もうと話し合っている今日この頃です。



学年同窓会の情報

今号では西高四三年と西高五〇年卒業の同窓会を紹介します。

西高四三年の同窓会は毎年十一月に行っており、今回で五回目となりました。最近の三回は神戸のホテル北野プラザ六甲荘で開催しました。今回は十一月十五日(日)に総勢二十九名が集まり盛大に行いました。近況報告の後、出し物として有志による楽器演奏による演奏もあり、最後は例年の如く校歌斉唱で終了しました。また二次会も同ホテルで行い、大



西高 43 年の同窓会 (ホテル庭園にて)

数が参加し、来年の再会を約束しました。

西高五〇年の同窓会は一〇月二四(土)第四回目的の同窓会を神戸で開催しました。

クルーズ船(コンチエルト)でスイーツ&フリードリントをいただきながら、神戸港や海から眺める神戸の景色を満喫。ピアノの生演奏もあり、オシャレなひと時を過ごしました。

その後、男性二人と女性一人も加わり、中華街のレストランで会食。

今回は少ない人数での集まりになりましたが、お天気にも恵まれ、楽しい一日となりました。



西高ニュース



現在、西高では校舎の耐震工事が行われています。そのため、授業は仮校舎です(写真右隅)。

また、かつての入り口があった大手門跡の復元整備事業も進行しています。帰郷の折は是非、立ち寄って様子を眺めて下さい。



西高と大手門の工事の様子

(H27 秋撮影：鳥取市教育委員会提供)

会員の近況

(昨年の返信葉書通信欄より)

川口重義(一中五〇回) 母校の様々な情報が聞かれることを楽しみにしています。運動部の活躍を期待しています。

淀井義壮(一中五二回) 九〇歳を過ぎてから心身ともに急激に衰えました。

山中 孔(一中五四回) 経済大国と言われながら住まいの満足度は五五%、欧米の七〇%と大差ある。何とか近づけるべく住まいの性能向上に有志と友にNPOを結成して活動中である。近くモデルで世に問いたい。

田中 勲(一中五六回) 桜花の季節、青春謳歌です。卒寿を迎え襟をしめなおして頑張りたいと思います。これからは一年一年が人生の勝負の年になるう、白寿に向け気力頑張りが大切、ボケ老人になることが一番嫌いだ。貧乏暇なし、小説、短歌、川柳、俳句とか習字に寸暇をおし頑張っています

福富照代(高女一五年) 年に二、三回鳥取へ遊びに行きます。懐かしいので友人に会います。

吉村芳野(高女二四年) 月日の経つのがとても早く感じる今日この頃ですが、お陰様で元気に過ごしております。



井上 浩（西高二五年）故郷を離れて半世紀以上となります。商用で台湾、西欧（英・仏・独・伊・スイス・ベルギー）、北米（米・加）、中米（コスタリカ）、南米（伯・亜）を回り、また退職後はジャイカから派遣されて東アフリカのケニアのジョモチニアカタ大学に行きました。

世界の多様性を実感しました。現在加齢による各所の動脈硬化症で治療中です。

西原章忠（西高二五年）毎年、四月五日には鳥取高女のクラス会が丸茂旅館で開かれます。今年も出席しました。袋川の堤の桜が例年のように見事に美しく咲いていました。吹く風

にも故郷のにおいを感じました。



石原喜代子（西高二六年）元気に過ごしていますが足を痛めています。

並川正江（西高二六年）昨年四月私は神戸に住む娘の子供たち（孫）と共に鳥取に行きました。鳥取駅の近くの小銭屋さんという所に泊まり、一二年ぶりに鳥取砂丘、白兎神社等に行きました。とても懐かしかったです。鳥取西高の辺り、久松山のふもと等々。鳥取は私の懐かしい故郷として、心の中にいつまでも残って居ります。

米田登美子（西高二六年）万歩計を首に下げて数字を楽しみに歩くようにしています。充実した日々を送って居ります。

中嶋照夫（西高二六年）診療をさせて頂いています。六月四日第一一回日本精神神経学会学術総会で「先生に聴く」とい

ったセクシオンで講演をいたします。自覚がないうちに先達と言われる年齢になったのかと驚いています。

若槻昌子（西高二八年）西高が甲子園に来るのを楽しみにしています。

倉光弘乙（西高二九年）やっと間もなく現役から離られる予定です。大阪自由大学という団体で学長として講義やサロンを行う計画をしています。

佐々木清臣（西高三〇年）幼稚園、小学校、高校の計四校の学校薬剤師として頑張っています。おくすり講座、危険ドラッグなど難しい時代を迎えています。

松永澄子（西高三〇年）まだ現役で勤めています。少し歩行がしんどくなりましたが、歩くのが仕事なので（セールス）ボチボチこなしていきます。

赤松小乃江（西高三一年）元気に過ごしています。新聞やテレビに時々鳥取のことが報道されているのを見るととても懐かしく感じます。

植村京子（西高三四年）次女が第四子を昨年出産、薬剤師の娘は出産後二カ月で新薬開発、毎朝保育園の送りと夕方の迎えでばたばたしています。

尾崎宗昌（西高三四年）演奏は昨年、テレビを機に止め、視力が良いのを生かして仕事は午後だけ現役でさせて頂いています。

清来直行（西高三六年）老いて益々元気でスポーツジム、ゴルフ、旅行、カラオケを夫婦仲良く楽しんでいます。



市川渥史（西高三七年）一五年ほど前、生徒からネットの面白さを聞かされ、それではと自分もやり始め、すっかりはまりこみました。

日比建次（西高四〇年）仕事（ISO審査員）と趣味（ラジオコン）でそれなりに忙しい毎日を送っています。

石田正純（西高四一年）人生半ばの気分であと一〇年頑張ります。去年は交通事故で少し休業しましたが現役復帰です。

宇都宮孝子（西高四一年）デイスサービス（看護部）で週四日勤務しています。自営業の陶器の「ふるさと」で鳥取の物産を取り扱いPRしています。

安宅寿昭（西高四三年）神戸電鉄の関連会社でビル管理をしています。

井上なぎさ（西高四三年）阪神シルバーカレッジに通っています。クラブ活動もあり、楽しく過ごしています。

谷口 収（西高四三年）月八〇時間程度パート勤務しています。体調良好です。

小谷 育（西高四四年）年金満額もらえる年齢になりましたが、まだ現役で働いています。

名荷恭介（西高四四年）相変わらず作家活動を行っております。

谷尾吉郎（西高四六年）大阪府立総合医療センターで副院長（呼吸器内科）をやっております。

牧野博子（西高五五年）マラソンを続けています。

今村裕介（西高六二年）平成二六年よりミャンマーに単身赴任しております。

お悔やみ

八橋 毅さん（一中五二回）、栃谷義男さん（一中五六回）、岩永明流子さん（西高四四年）がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈り致します。

（連絡のあった方のみ）

「近況」や「思い出」を投稿下さい

皆様の近況や学年同窓会の様子、西高や鳥取にまつわる情報、そして「久松山下青春の思い出」など何でも結構です。

連絡先 〒632-0803

奈良市山陵町236-1

サンプラザ208

村江信幸 宛

携帯番号 090-3465-7203

平成26年度西高近畿同窓会 会計報告

（平成26年1月1日～12月31日）

（単位：円）

収入の項	金額	支出の項	金額
前年度繰越	1,013,050	通信・交通費	75,519
年会費収入	248,620	印刷費	115,352
総会費収入	534,000	総会費	528,557
雑収入	212	事務局費	20,696
		雑費	4,465
		次年度繰越	1,051,293
合 計	1,795,882	合 計	1,795,882